「ことばのちから」活用シート　活用事例

【八尾市立桂小学校】

| 活用シート名 | 自分の意見と比べて聞き取ろう | | | 基になった  活用シート名 | 話聞１２  自分の意見と比べて聞き取ろう |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学　年 | 小学校５年 | 教　科 | 国語・総合 | 時　期 | ５　月 |
| 活用場面 | 授　　業 | | | 配当時間 | １時間 |
| 目　標 | 話し手の意見と自分の意見の似ているところとちがうところを比べて聴き、自分の意見を述べる。 | | | | |
| 活用シート  ・  工夫した点 | ●活用方法  ①「ことばのちから」プリント「話・聞１２」から３人の  意見を抜いたワークシートを用意し、配布する。  ②児童にあいさつに対する自分の意見を書かせ、担任が３  人の意見を読み、児童にはメモさせる。  ③聴いたことをふまえて、誰に賛成・反対かを理由をつけ  て書かせ、発表させる。 | | | | |
| 成果や改善点 | ●桂小学校では、昨年度から「聴く条件」をつけて意見の交流を行うようにしている。  ●実際に、このプリントを使用してから、ただ友だちの意見を「聞いている」ということが多かった児童は、聴くポイントが明確になることで、他者から「なるほど」と思える意見や「似ている」意見を聴けるようになってきた。  ●他教科での意見の交流の際にも活かせているし、国語科の「見立てる」「生き物は円柱形」の際には、筆者の考えに対して、自分の考えを持てる児童もでてきた。  ●聴くポイントを明確にしたとはいえ、まだまだ聴くこと自体に課題のある児童が多い。  ●引き続き、聴くテスト（例えば、学校のとりくみのひとつである放送機器やTVを使った読み聞かせから何問か問題を出したり、児童集会の委員会の発表から何問か問題を出したりする）などできちんと聞き漏らさずに「聴く」力も平行してつけていく必要がある。 | | | | |
| 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真　等） | | | | | |